

研究課題名	胸部レントゲン写真から心疾患を推定する AI 作成と評価
研究の意義・目的	本研究の目的は、日常診療で広く行われている胸部レントゲン画像から、慢性心疾患（心不全、弁膜症など）の重症度や将来の見通しを予測する AI（人工知能）モデルを開発することです。 心疾患の早期発見には専門的な検査や高額な機器が必要ですが、普及しているレントゲン画像から AI が心疾患のリスクを早期に発見できれば、見逃しを減らし、本当に必要な方に優先して精密検査や治療を受けていただくことができます。これにより、患者さんの負担軽減や、長期的な健康の改善につながることを期待されます。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～2031 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 （対象者）	既存の研究データベース（課題名:ビッグデータ研究推進のための病院間画像情報連携システム及びデータベース構築）に登録された方
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	診療の過程で得られた、あるいは過去に上記のデータベースに登録された下記の情報を本研究に使用させていただきます。 ・患者基本情報: 年齢、性別、診断名、病歴（高血圧、糖尿病、喫煙歴等）、身体所見（身長、体重、BMI） ・血液検査結果: 血算、生化学（特に BNP/NT-proBNP、腎機能、電解質等） ・放射線画像: 胸部 X 線写真 ・心機能評価・予後: 心エコー図検査所見（LVEF、壁運動異常等）、心臓カテーテル検査所見、心血管イベント発生の有無（心不全入院、死亡等）
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科人工知能学のみで行います。 【研究責任者】齊藤健一
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 今回の研究は株式会社 島津製作所からの研究費を受け実施します。 また、本研究の分担者である植田大樹は、医療 AI 推進機構株式会社の取締役を兼務していますが、本研究における同社からの直接の関与はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。

連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科人工知能学 担当者氏名：齊藤 健一 電話番号：(06) 6645-3831 メールアドレス：s25020d@omu.ac.jp
-----	--